

ガザ「停戦なら7.5万人救える」

米英の研究所

イスラエルのガザ侵攻で深刻な医療危機が引き起こされるなか、「戦闘がささいに激化し、感染症が流行する場合、ガザでは8月までに8万5千人が死んでる可能性がある」と述べる報告書が出されました。

報告書は、共同執筆です。ガザで停戦が実現した場合でも、飲料水や衛生環境が改善されず、感染症がまん延すれば「後6カ月で1万580人が死亡」する可能性があると述べています。

停戦がなく戦闘がさらに激化する場合では、最大8万5千人の死者が出ると推計。感染症が、まん延しない場合で、7万4千人としています。その場合、死者の大半は外傷（6千人）・ナウ」に出演し、「今すぐ停戦を行つたら、約7万5千人の命が救える」と掲載しました。

同報告書（19日発表）は、同大学院と米国のジョンズ・ホプキンス大